

こっこめ通信 06 2024

「八丈島の山めぐり」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

5月26日に発生した台風1号は八丈島直撃予報でしたが、島に辿り着く前に温帯低気圧に変わりました。弱まったこともあり、影響もそれほどなくホッとしています。今年は1月から降水量が多く、5月も平年を上回りました。もうすぐ梅雨入り、すでに沢山降っているので降水量は程々にしてほしいです。

さて、今回は「八丈島の山めぐり」「寄せられた情報は初記録だった！」についてのお話です。

八丈島の山めぐり



5月19日(日)、「山の日」全国大会 TOKYO2024「八丈島の山めぐり」を開催しました。

「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」という趣旨で制定された「山の日」を、国民の皆様に広く知ってもらうことを目的に「山の日」全国大会が開催されています。第8回となる東京大会は「東京全体」が開催地となり、さまざまな行事や関連イベントが行われます。八丈ビクターセンターで開催した今回の行事もこの関連イベントとして実施しています。

久しぶりの一日行事。八丈町営バスをチャーターして島の山々を巡る(左下が実施コース)ということもあり、定員を超える23名の参加がありました。今にも雨が降り出しそうな天気でしたが、最後まで雨が落ちてくることはありませんでした。雲が低くなって山が見えなくなってしまうのでは?とヒヤヒヤしていましたが、こちらも最後まで山は顔を出してくれていました。

講師は、島の山々や歴史に詳しい、前ビクターセンター長の菊池健さん。山の成り立ちやその都度見られる植物などの解説はとてもおもしろく、参加者からは「なるほど!」「そうだったのか!」と普段見ていた山や植物を見直すきっかけになっていました。

特に大坂トンネル展望から見る景色から、八丈富士のなかった時代に思いをはせ、マグマ水蒸気爆発で吹き飛んでしまった横間海岸周辺の昔の姿を想像してみました。今の「山」ではなく、昔の「山」も感じることでできた行事となりました。

解説には、アジア航測株式会社の赤色立体地図をパネルにして使用させていただきました。(H.T.)



「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科(旧ツグミ科)の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

寄せられた情報は初記録だった！

ビジターセンターには、島内・島外からいろいろな質問や情報が寄せられます。最近寄せられた植物と鳥類の2つの情報が、調べてみたところ八丈島では記録の無かった初記録でしたので紹介させていただきます。窓口での問い合わせも撮影した画像を見せてもらえるので、種の特定がしやすくなっていますね。(H.T.)

ツレサギソウ (*Platanthera japonica*)

「ハチジョウツレサギのようだけどなんだか雰囲気違う花がありました」と情報を寄せてくれたのは、3月までビジターセンターで働いていた木下恵美さん。写真を見せてもらって今まで記録のなかった「ツレサギソウ」でした。誰も通らない場所ではなく、みんなが通る場所に咲いていたので、さらにビックリでした。ツレサギソウ属の植物は島内に何種類か自生していますが、花の作りを見ると全然違いますね。(写真下)

後日、この地域に住む方から「40年ほど前に白い花の咲く植物を見たが、もしかしたらツレサギソウだったのかも」との情報もありました。



ツレサギソウ



ハチジョウツレサギ



ハチジョウチドリ

オウチュウ (*Dicrurus macrocercus*)

画像と共に、「オウチュウの写真を撮影しましたが、過去に記録があるのかインターネット検索ではわからなかったので連絡しました」とメールで問い合わせをしてきてくれたのは、島外に住む石田竜久さんでした。

ゴールデンウィークに旅行で島を訪れた際、三根地区で撮影したらしく、撮影時の様子を伺ったところ、「尾羽の長めな鳥がひらりと飛び、鉄線に止まるのが視界に入りました。よく見るとただの黒ではなく緑や青に光って見え、とても綺麗でした」とのこと。目ははっきり分かる最高の写真ですね！

過去にオウチュウらしき鳥を見たとの情報はありましたが、確実な情報でなかったため、今回の画像により、八丈島初記録（ビジターセンター調べ）とさせていただきます。日本鳥類目録改訂第7版によれば、伊豆諸島初記録のようです。



八丈植物公園季節調査会の報告

今月の季節調査会は、4名の参加者+スタッフ2名で開催しました。暖かい日が続いているためか沢山の草花を確認でき、シダ植物20種類を含む101種類の植物を観察しました。普通に歩いていたら見落とししまいそうな小さな花も、お日様に向かって競って咲いているように見えました。今回は判断できなかったイネ科を持ち帰り同定しました。カヤツリグサ科やイネ科、難しいです。(M.O)

八丈植物公園季節調査（2024 年度第 2 回） 5 月 12 日 天気：晴れのち曇り、気温：24.5℃

調査者：青木、小林、西喜、木下 VC：沖山、高須

1	ヤブニッケイ	新芽、蕾、もち病菌 約 5cm						
2	タコノキ	気根の長さ 29.7cm、太さ 12cm、実						
3	オオタニワタリ	新芽 25 枚、最長丈 94.3cm、幅 15.8cm						
4	ニオイウツギ	花（白、ピンク）、蕾						
5	ニオイバンマツリ	花沢山						
6	オオシマザクラ	実（熟した実、青い実）、サクラクワガタハバチによる食害						
7	アオノクマタケラン	蕾・花	40	スズメノヤリ	実	73	ブラシノキ	花
8	アカカタバミ	花	41	スダジイ	新芽	74	マツバウンラン	実
9	アカメガシワ	蕾・花	42	セイヨウアジサイ	花	75	みやけときわ	花
10	アツバスマシ	閉鎖花	43	セイヨウタンポポ	花	76	ムシクサ	花・実
11	アロウカリア	実生苗	44	センダン	花	77	ムラサキカタバミ	花
12	イヌビワ	実	45	ソメイヨシノ	花	78	モンステラ	実
13	イワニガナ	花	46	タネツケバナ	花	79	ヤエザクラ	花
14	ウスベニニガナ	花	47	タブノキ	新芽	80	ヤエムグラ	実
15	ウラジロチチコグサ	実	48	チガヤ	実	81	ヤツデ	新芽
16	オオアレチノギク	蕾	49	チチコグサ	実	「八丈千鳥」と「みやけときわ」は ガクアジサイの品種		
17	オオキンバイザサ	花	50	ツボミオオバコ	花			
18	オオバコ	花	51	ツメクサ	花	シダ植物		
19	オオバヤシャブシ	実	52	テイカカズラ	花	1	イシカグマ	
20	オオムラサキシキブ	蕾	53	トウバナ	花	2	オオイタチシダ	
21	オニタビラコ	花	54	トキワツユクサ	花	3	オニヤブソテツ	
22	オランダミミナグサ	実	55	トキワハゼ	花	4	カニクサ	
23	ガクアジサイ	蕾	56	トベラ	若実	5	タチクラマゴケ	
24	カタバミ	花	57	ナガエコミカンソウ	花・実	6	タチシノブ	
25	カモジグサ	花	58	ナギ	若実	7	タマシダ	
26	カラスノエンドウ	実	59	ニラバラ	花	8	トラノオシダ	
27	ギシギシ	花終わり	60	ニワゼキショウ	花・実	9	ナチシケシダ	
28	キダチチョウセンアサガオ	花	61	ヌカススキ	花・実	10	ノキシノブ	孢子嚢
29	キュウリグサ	花	62	ハゼノキ	花	11	ハチジョウカナワラビ	
30	コケミズ	花	63	八丈千鳥	花	12	ハチジョウシダ	
31	コケリンドウ	花	64	ハチジョウネジバナ	白花	13	ヒトツバ	
32	コナスビ	花	65	ハナイバナ	花	14	ヘゴ	
33	コハコベ	実	66	ハハコグサ	花	15	ホシダ	
34	コモチマンネングサ	花	67	ヒナギキョウ	花・実	16	ホラシノブ	
35	サクユリ	蕾	68	ヒメコバンソウ	花	17	マメヅタ	
36	シチトウスマシ	花	69	ヒメジョオン	花	18	ミゾシダ	
37	シマササバラ	花	70	ヒメユズリハ	蕾・花	19	ヤマイタチシダ	
38	シロダモ	新芽	71	ヒメヨツバムグラ	花	20	ワラビ	
39	シロバナマンテマ	花	72	フウトウカズラ	雄花			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、前ページのツレサギソウと同属の「ヤマサギソウ」にスポットを当ててみたいと思います。



ヤマサギソウ

Platanthera mandarinorum subsp. *mandarinorum* var. *oreades*

ラン科ツレサギソウ属。北海道から九州まで広く分布し、伊豆諸島でも見られます。海外では朝鮮半島にも分布しています。

日当たりの良い場所で見られ、下部の一枚の葉が大きく、その上に数枚の鱗片葉を付けます。花は6月下旬頃に咲き、黄緑色で10数個付いているものが多いです。(H.T.)

2024
6ハチビジターセンター
プログラムカレンダー日付の下に書かれている時刻は、八丈島(神湊)の潮の満ち引きの時刻です。
また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
						1 ガイドウォーク 00:30 12:33 06:56 18:32
2 ガイドウォーク 01:13 14:11 07:52 19:42	3	4	芒種 5 03:04 17:19 10:04 22:20	6 03:40 18:06 10:44 23:02	7	8 ガイドウォーク 04:17 18:50 11:25 23:41
9 ガイドウォーク 植物公園季節調査会 05:32 20:09 00:18 12:44	10	11	12	13	14 04:38 16:09 09:43 23:09	15 ガイドウォーク 11:32 23:54
16 ガイドウォーク 07:08 18:24 13:22	17	18	19	20	夏至 21	22 ガイドウォーク ハチ学講座 「着生植物を観察しよう」 04:02 18:33 11:12 23:31
23 ガイドウォーク 04:41 19:13 11:53	24	25	26	27	28	29 ガイドウォーク 04:54 16:29 10:38 23:11
30 ガイドウォーク 06:07 17:34 12:29 23:55						この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
6/9 (13:30～ 約1時間半)
中学生以上 ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名ハチ学講座
「着生植物を観察しよう」毎月行っているハチ学講座。植物公園内のヤシ類にどんな植物が着生しているか、観察してみよう！
6/22 (13:30～ 約1時間半)
中学生以上 ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名

植物公園ガイドウォーク

解説員が植物公園内をご案内します。
毎週 土日及び祝日、(10:30～約1時間) だれでも参加できます。
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：10名

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち
11:00～ おじゃりやれ 八丈島
14:00～ おじゃりやれ 八丈島
15:00～ おじゃりやれ 八丈島
16:00～ 八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2024.6.1 第277号

開館時間 9:00～16:45 年中無休(入場無料)
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888
<https://www.tokyo-park.or.jp/park/hachijo/>

編集後記

オウチュウの情報を頂いた後、周辺を探してみましたが気配は全く無しでした。鳥は植物と違って飛んで移動するため、出会いは一期一会。今回のようにその一期一会を記録に残すことは大事なことだと思います。皆様、いろいろな情報お待ちしております！ (H.T.)